

塗料関係 JIS 制定・改正の動向

(社)日本塗料工業会
(財)日本塗料検査協会

塗料関係JIS原案作成団体である(社)日本塗料工業会は、平成16年度に下記のJIS規格の原案を作成し、16年度末に制定及び改正の申請を行うこととしております。

1. 塗料成分試験方法の制定

JIS K 5601-4-2 (予定)	塗料成分試験方法—第4部：塗膜からの放散成分分析—第2節：揮発性有機化合物(VOC)、ホルムアルデヒド及び他のカルボニル化合物
------------------------	-----------------------------------------------------------------

建築材料からの揮発性有機化合物(VOC)、ホルムアルデヒド及び他のカルボニル化合物放散測定方法は、JIS A 1901で「20L小形チャンバー法」が標準となっている。

塗料関係では、ホルムアルデヒド放散測定について、平成15年度にJIS A 1901による測定方法の簡易法であるデシケータ法による測定方法をJIS K 5601-4-1で制定した。

VOC放散測定についてもJIS A 1901による測定方法の簡易法を検討した結果、3Lチャンバーを用いる方法が適用可能であることを確認し、3Lチャンバー法による測定方法をJIS K 5601-4-2(予定)として制定する。

2. 塗料製品規格の改正

1) JIS K 5621及びJIS K 5674に環境対応型塗料である水系塗料を種別追加する。

JIS K 5621	一般用さび止め ペイント	1種	現行規格1種に同じ
		2種	現行規格2種に同じ
		3種	現行規格3種に同じ
		4種	水系塗料規格を追加
JIS K 5674	鉛・クロムフ リーさび止めペ イント	1種	現行規格を1種とする
		2種	水系塗料規格を追加

2) 建築用耐候性塗料規格はJIS K 5656ポリウレタン樹脂系及びJIS K 5658ふっ素樹脂系と樹脂毎に制定されている。これを統合して1規格とし、規格の中を耐候性のグレードにより1級、2級、3級の品質等級を設ける。1級及び3級をこれまでのふっ素樹脂

系相当、ポリウレタン樹脂系相当とし、新たにシリコン樹脂系相当を2級として追加する。

なお、製品には品質等級と種類(樹脂系)を表示することとする。構造物用耐候性塗料についても、同様にJIS K 5657ポリウレタン樹脂系及びJIS K 5659ふっ素樹脂系を統合し、1級及び3級をこれまでのふっ素樹脂系相当、ポリウレタン樹脂系相当とし、新たにシリコン樹脂系相当を2級として追加する。

JIS K XXXX (未定)	建築用耐 候性上塗塗 料	1級	JIS K 5658(建築用ふっ素樹脂塗料)に準拠
		2級	追加(シリコン樹脂系塗料相当)
		3級	JIS K 5656(建築用ポリウレタン樹脂塗料)に準拠
JIS K YYYY (未定)	構造物用耐 候性塗料	1級	JIS K 5659(ふっ素樹脂塗料)に準拠
		2級	追加(シリコン樹脂系塗料相当)
		3級	JIS K 5657(ポリウレタン樹脂塗料)に準拠
		中級	JIS K 5657及びJIS K 5659中塗に準拠

3) 鋼構造物用さび止め塗料規格の制定

これまでJIS K 5551規格のエポキシ樹脂塗料1種下塗り塗料をA種、2種下塗り塗料をB種とし、1種上塗り塗料及び2種上塗り塗料は削除する。

さらに、市場で広く使用されている変性エポキシ樹脂系又は変性ウレタン樹脂系塗料下塗り塗料をC種として追加する。なお、グリーン調達に対応するため、鉛・クロムフリーであることを品質項目(試験方法及び品質水準はJIS K 5674に同じ)に盛り込む。

JIS K 5551 (予定)	鋼構造物用 さび止め塗 料	A種	JIS K 5551 1種下塗りに準拠
		B種	JIS K 5551 2種下塗りに準拠
		C種1号	常温環境下で施工
		C種2号	低温環境下で施工